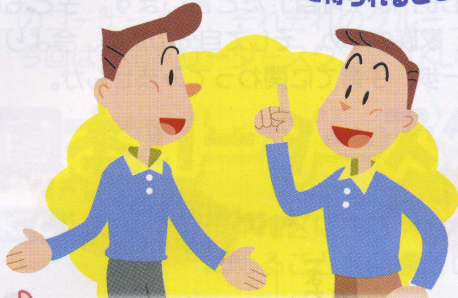


対外編

地域での人づきあいの大切さが「絆」という言葉と共に、見直されています。PTAや保護者会は、身近な地域でのコミュニケーションの第一歩。子どものため、そして自分のため、勇気ある一歩を踏み出す父親が増えています。

職場で子どもの話をする

楽しい休日の過ごし方の情報を得られることも。



ポイント

子育てに関する他の人の考え方にふれることで、いろいろな見方ができるようになります。

保護者会・PTAに参加する

意外に楽しい。



ポイント

他業種の人と一緒に活動することは、新たな発見につながることもあり、自身の高い満足感につながります。

「父親」を楽しめる時期は限られています。その時期を子どもと一緒に大いに楽しんでください。

思春期の子どもと向き合う

思春期の子どもをもつ保護者を対象とした内容です。この時期の子どもには、「何かうちの子が変わった」「最近、何を考えているのかよく分からない」など、多くの保護者が悩んでいます。ここで立ち止まって、日頃の子育てをふりかえってみませんか。



Q

最近のうちの子、親のいないときに、ネットで性に関するサイトを見ているの。どう対応すればいいの？



A

思春期の子どもは「性」に対して好奇心旺盛です。性についての全てを知りたがります。

親としてはインターネットのフィルターをかけるなどの対応をしても、子どもは、性について誤った情報に触れてしまうこともあるでしょう。今はわいせつで違法なサイトが数多く開設され、親の知らないところで子どもがそのサイトを見るなど「見える性」の時代とも言われています。

家庭においては性の話題をタブーにしたいくなります。しかし、最も大切にしたいことは、見せないことに力を入れるのではなく、子どもと向き合うことではないでしょうか。難しい問題ですが、子どもとの会話の中で性の話題になったとき、避けて別の話題にするのではなく、よい機会として子どもに正しい知識と考え方を伝えることが必要なのかもしれません。